

# 週刊 渡辺大三 NEWS



「脱ムダ」で市政を変える！ 市政改革を前へ、前へ

【会派 NEWS】 2020(令和2)年 9月14日 週刊 vol.56

【ご意見ご要望はお気軽に】 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301

T 090-3345-6929 F 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com

公式サイト daizou.org (Twitter、facebook には公式サイトからアクセスできます)

## 特別定額給付金10万円 ひどすぎた支給の遅れ

# 近隣市・類似市中、ワースト1位

## 市民から苦情多数 西岡市長が議会で謝罪

新型コロナウイルス感染症対策として国が国民一人当たり10万円を特別定額給付金として支給しました。支給事務は各市区町村が行いましたが、支給のスピードには大きな違いがあり、小金井市は近隣市・類似市中、6月30日時点でも、7月15日時点でも、支給率がワースト1位であったことが判明しました。率の違いに絶句します…。

西岡市長は、他市に比べて大幅に支給が遅れた件について、議会で謝罪しました。

同給付金は、新型コロナウイルス感染症の「緊急」対策として実施されたものであり、収入が激減した世帯にとっては「命綱」とも言えるものです。市役所の能力の低さによって支給が大幅に遅れたことは、非常に大きな問題です。市民からも多数の苦情が寄せられており、市長はじめ行政は、原因を徹底的に分析し、二度とこのような大失態を起こさないようにすべきです。

### 特別定額給付金の支給率

(近隣市及び類似市との比較)

市名	6月30日	7月15日
1位 東久留米市	75.0%	99.0%
2位 昭島市	93.9%	98.5%
3位 青梅市	89.8%	98.3%
4位 西東京市	95.2%	98.2%
5位 調布市	80.1%	97.5%
6位 武蔵野市	91.5%	96.6%
7位 小平市	81.4%	96.4%
8位 多摩市	44.3%	96.2%
9位 国分寺市	95.1%	93.4%
10位 府中市	46.2%	92.0%
11位 三鷹市	39.8%	79.6%
最下位 小金井市	26.5%	75.8%

支給率⇒申請世帯に対する支給完了の割合

# 多すぎる！ 市役所職員の条例定数

## 本会議で追及し、実数に合わせた定数設定を求めました

9月8日の本会議(一般質問)で、私は、「市役所職員の定数を定める条例」の改正案を提出するよう西岡市長に強く求めました。現在の条例は、平

成27年10月(当時は稲葉市長)に改正されたもので、市役所の正規職員の定数を790人と定めています。現在、正規職員数の実数は677人で



△ 2020年9月8日、本会議で一般質問。新型コロナ対策で、マスク着用、アクリル板に囲まれ着座にて。

あり、その差は113人も開いています。

## 市役所職員の条例定数と実数

	条例定数	実数	差
市長部局の職員	636	563	▲73
議会事務局の職員	10	9	▲1
教育委員会の職員	135	98	▲37
選挙管理委員会の職員	4	4	0
監査委員の職員	3	3	0
農業委員会の職員	2	0	▲2
合計	790	677	▲113

市役所職員定数条例の改正を巡っては、2年前(2018年6月)に西岡市長が改正案を提出しましたが、必要とされる正規職員数を「水増し」して提案したため、私どもが「水増し」分を除外して削減を徹底する修正案を提出。最終的に、市長案も私どもの修正案も否決された経緯があります。

その後2年が経過しましたが、市長側からは特段の動きがありませんでした。そこで、今回、「いつまでも放置すべきでない」「本年度を最終年度とする行財政改革プランの結果を踏まえて市役所職員定数条例も改正を図るべき」との観点から、本会議での質疑を実施したわけです。

西岡市長側からは条例改正案の提出時期について明言はありませんでした。場合によっては、条例改正案は議員発議で提出することになるかもしれません。

## 多すぎる議員定数問題

# 請願書は継続審査に

## 市民意向調査の結果待ち

小金井市議会の議員定数が、多摩26市の中で人口が類似する4市の中で一番多くなっている問

題の続報です。市民団体「議員定数削減の会」が、1120名もの署名を添えて提出した「定数2減を求める請願書」は、9月10日の議会運営委員会で審査されました。審査にあたって、請願書の紹介議員(私を含む3議員)が、請願書に賛同する立場から意見を述べました。

現在、小金井市議会は、議会運営に関する市民意向調査(無作為抽出の2000人対象)を実施しており、その締め切りは9月23日です。意向調査の設問には、議員定数に関するものも含まれており、どのような結果が得られるか注目されます。

請願書は継続審査となり、11月10日に再度審査することとなりました。

## 奨学金増額条例案を共同提出 委員会では可決、本会議は？

情報公開こがねい、共産党、ネット、市民カエルの4会派は、共同で、「奨学金増額条例案」を議員提案しました(6月23日)。新型コロナウイルス感染症は学生の皆さんの生活にも多大な影響を与えており、新聞やテレビでもその深刻な影響が報道されています。国や東京都も一定の取り組みをしておりますが、小金井市としても学生さんの支援に向けて一定の措置を講じるべきだと考えました。

同条例案の内容は、①高校生及び高等専門学校生(1～3学年)の奨学金を「月額5300円以内」から「月額1万2000円以内」に引き上げる、②大学生及び高等専門学校生(4、5学年)の奨学金を「月額1万2200円以内」から「月額2万円以内」に引き上げる、の2点です。

同条例案は、9月11日の厚生文教委員会で可決されましたが、最終的には25日の本会議での採決で可否が決まりますので、油断できません。

### ◆渡辺大三略歴◆

1966年5月2日、岩手県水沢市(現:奥州市)生まれ。秋田県横手市、宮城県仙台市、山形県山形市を経て、9歳から小金井市在住。小金井市立本町小学校・小金井市立小金井第一中学校(桜町)、東京都立小金井北高等学校(緑町)、中央大学法学部を卒業。株式会社河北新報社(本社:仙台市)に就職し、新聞記者。衆議院議員秘書を経て、男性最年少の26歳で小金井市議選初当選(以降7期連続当選/最近4回の選挙はいずれも無所属で立候補)。

【現在】小金井市の地域政党「情報公開こがねい」共同代表。東京の地域政党「自由を守る会」幹事長。小金井市商工会参与。貫井北町商工振興会事務局長。中町親愛会相談役。中央大学学生会小金井支部副支部長。小金井北高等学校同窓会幹事長。